

2026年3月期 決算説明資料

ガリレイ株式会社

証券コード：6420(東証プライム)

会社概要

ガリレイ株式会社 GALILEI CO. LTD.

設立:1951（昭和26）年12月8日

本社:大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18

代表者：代表取締役社長 福島 豪

資本金:27億6千万円

従業員:3,076名（2026年3月末現在）準社員込

連結売上高：1386億16百万円(2026年3月期)

連結経常利益：179億43百万円(2026年3月期)

上場：東証プライム市場



ガリレイグループのネットワーク

■国内

事業所数 **75** 拠点

生産拠点 **9** 拠点

■海外

事業所数 **13** 拠点

生産拠点 **1** 拠点



■ガリレイグループの主要な生産拠点

岡山第一工場(フクシマ)



岡山第二工場(フクシマ)



滋賀(水口)工場(フクシマ)



彦根工場(ガリレイパネルクリエイト)



タイ工場



Copyright(C) GALILEI CO.LTD All Rights Reserved.

Page 3

GALILEI
Re cool, Re alive.

事業の概要



冷凍冷蔵
ショーケース



フードサービス



医療・理化学製品

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します



大型食品加工機械



大型パネル
冷蔵設備



小型パネル
冷蔵設備



サービス

Copyright(C) GALILEI CO.LTD All Rights Reserved.

Page 4

GALILEI
Re cool, Re alive.

2026年3月期 決算のポイント

売上高
138,616百万円
前年比**6.1%**増

営業利益
17,078百万円
前年比**3.1%**増

親会社に帰属する
当期純利益
12,197百万円
前年比**1.6%**増

○売上高：5期連続増収

■冷凍冷蔵ショーケース販売 売上高：54,304百万円(前年比3.9%増)

流通産業において省エネ改装需要が堅調に推移し、
主にスーパーマーケット・ドラッグストア向けの販売が増加

■フードサービス販売 売上高：31,970百万円(前年比5.3%増)

外食産業のインバウンド需要等や、前年度から取り組みを強化したユーザーへのご提案が
着実に効果を発揮し、飲食店向けの汎用冷凍冷蔵庫の売上が増加
大手外食チェーン向けに日本洗浄機の食器洗浄機や自動ゆで麺機の販売が堅調

○営業利益：5期連続増益

材料費・人件費の増加が継続も、冷凍冷蔵ショーケース販売中心に増益

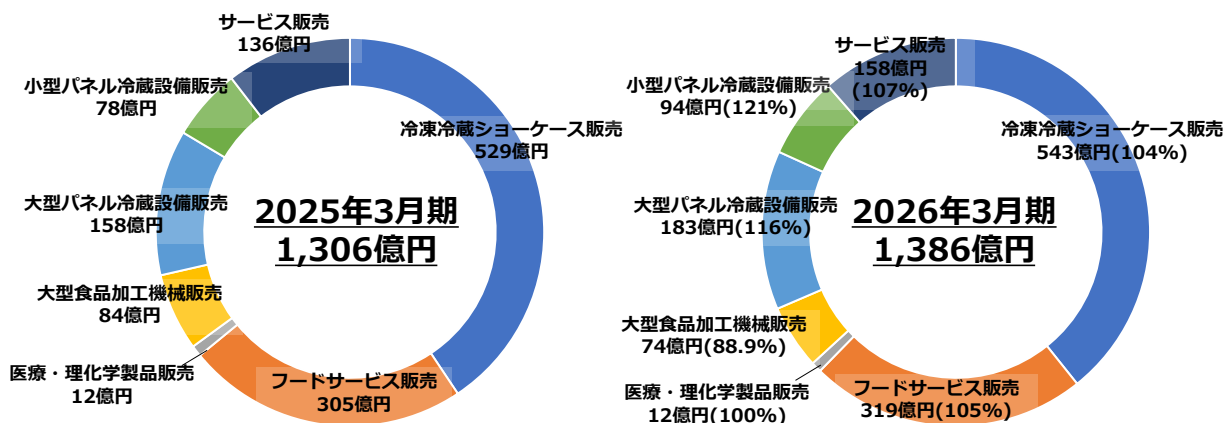
2026年3月期業績概要

連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2025年3月期		2026年3月期		前年比	通期修正予想 達成率
	金額	比率	金額	比率		
売上高	130,639	100.0%	138,616	100.0%	106.1%	100.6%
売上原価	94,541	72.4%	99,987	72.1%	105.8%	100.5%
売上総利益	36,098	27.6%	38,629	27.9%	107.0%	101.1%
販売費及び 一般管理費	19,526	14.9%	21,550	15.5%	110.4%	101.3%
営業利益	16,572	12.7%	17,078	12.3%	103.1%	100.9%
経常利益	17,175	13.1%	17,943	12.9%	104.5%	101.9%
親会社株主に 帰属する当期純利益	12,008	9.2%	12,197	8.8%	101.6%	100.1%

販売区分別売上高構成比(売上,前年比)



Copyright(C) GALILEI CO.LTD All Rights Reserved.

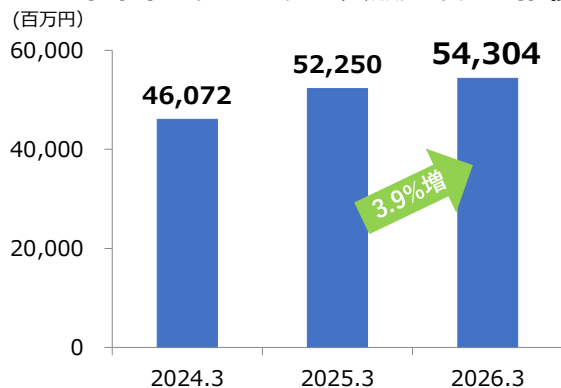
Page 7

GALILEI
Be cool, Be alive.

冷凍冷蔵ショーケース販売

売上高前年比3.9%増、
前年に続き過去最高売上を更新

冷凍冷蔵ショーケース販売の売上推移



Drynal
ドライナル



トピックス

- ・消費者の節約志向、店舗の人手不足の継続、人件費高騰で設備投資に慎重な反面、スーパーマーケット・ドラッグストア向けの省エネ改装需要は継続
- ・一部出店旺盛なスーパーチェーン向け売上が伸長
- ・エネルギーコスト高騰を受け、業界初のショーケース排熱を活用した「Drynal (ドライナル)」を発売。店舗の省エネと快適な買い物環境を両立し、電気使用量の削減に貢献

Copyright(C) GALILEI CO.LTD All Rights Reserved.

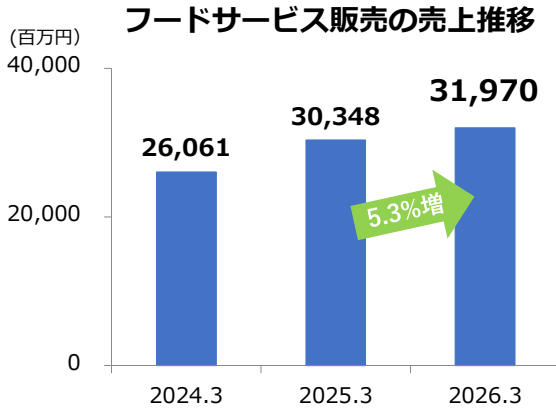
Page 8

GALILEI
Be cool, Be alive.

フードサービス販売

外食産業のインバウンド需要と ユーザー営業強化で着実に売上UP

冷媒ガス漏れ
10年保証

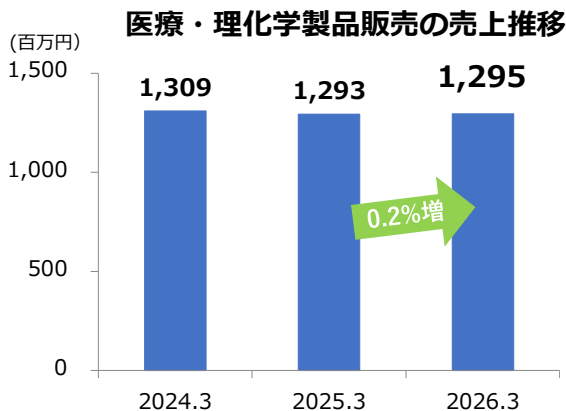


トピックス

- ・国内売上は、ユーザー営業強化が着実に効果を発揮し、外食産業向けに主要機種である冷蔵庫・製氷機の売上が増加
- ・前期よりグループ入りした日本洗浄機の売上も約**31億円**(前年比**17%増**)で売上増の要因
※連結調整前
- ・2024年4月ノンフロン冷媒R1234yf採用の業務用冷蔵庫・製氷機を対象にスタートした「**冷媒ガス漏れ10年保証**」が、2025年4月より冷凍機内蔵型製品の全機種対象に拡大

医療・理化学製品販売

薬用保冷库中心にメディカル製品の 売上増加で回復基調へ

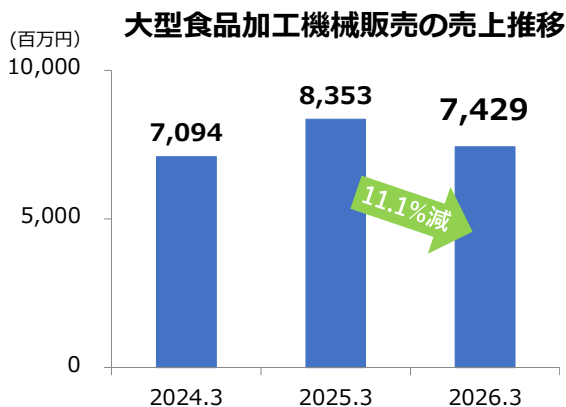


トピックス

- ・調剤薬局やドラッグストアチェーンの入替需要で薬用保冷库等の販売台数・売上は増加傾向
- ・**ガリレイ未来医療国際拠点GIFT**(ギフト)を開設し、自動大量細胞凍結装置の開発にて、再生医療製品等の開発や実用化促進に貢献していく
- ・製薬、大学をターゲットユーザーと定め、超低温フリーザーやメディカルフリーザーの販促を強化

大型食品加工機械販売

前期好調の反動と 大型案件の減少で減収

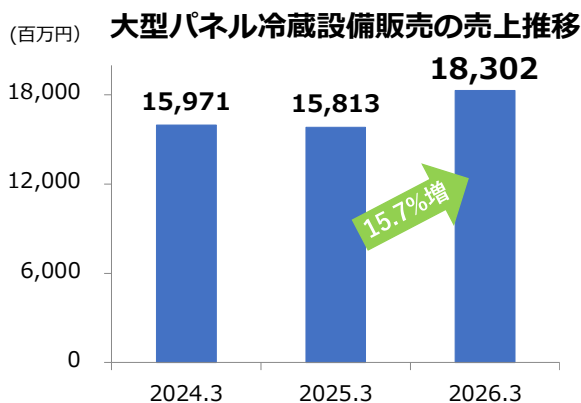


トピックス

- ・ 人手不足による自動化や省人化等を背景に食品メーカーの投資意欲はあるものの大型案件の件数が少なくトンネルフリーザーの売上が減少
- ・ 売上内訳(連結調整前)
 - トンネルフリーザー事業<タカハシガリレイ> 6,665百万円(前年比10.2%減)
 - ラインコンベア事業<ショウケンガリレイ> 1,654百万円(前年比18.4%増)

大型パネル冷蔵設備販売

好調な物流案件を中心に グループシナジーを発揮し売上大幅増



トピックス

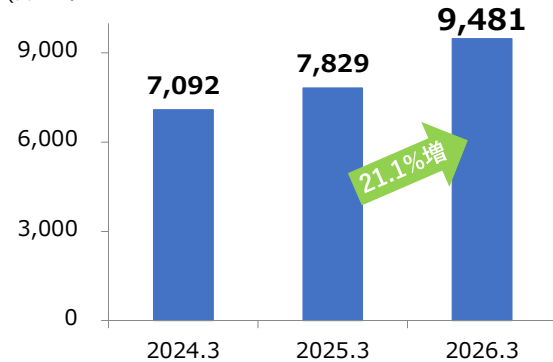
- ・ 低温物流拠点の新設や統廃合、加えて冷凍冷蔵倉庫の満床・老朽化等による物流センター・冷蔵倉庫の常温から冷凍冷蔵温度帯への切り替えをはじめとした建設需要が継続
- ・ スーパーマーケットのプロセスセンターや食品工場の需要も継続

小型パネル冷蔵設備販売

スーパーマーケットやコンビニ向け販売が好調で売上高前年比21.1%増



(百万円) 小型パネル冷蔵設備販売の売上推移



トピックス

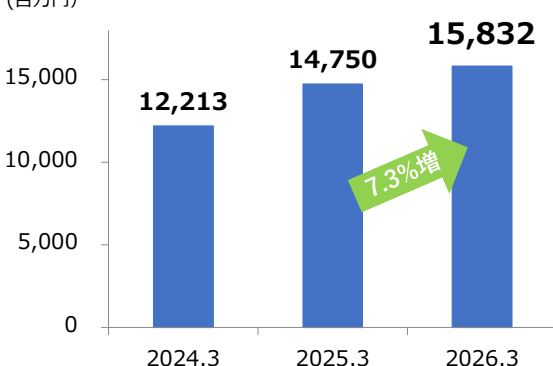
- ・グループの販売網を活用し、スーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの販売が好調
- ・一部外食チェーンも同様に販売が堅調に推移
- ・医療医薬向けクリーンルームパネル内装システム「PURE CIS (ピュアシス)」を販売開始

サービス販売

外食・流通産業向け両方の売上が堅調に推移



(百万円) サービス販売の売上推移



トピックス

- ・スーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの冷凍冷蔵ショーケースのメンテナンス、保守契約の売上は継続して堅調に推移
- ・外食産業の需要回復に伴い冷凍冷蔵庫などのメンテナンスの売上も増加
- ・「Zero Call Company (ZCC)」AIを活用したスマート診断の精度向上とプレメンテナンス拡充を実施し、「冷媒ガス漏れ10年保証」を推進し、製品故障に伴うフードロスの低減や冷媒漏洩量の削減に貢献

海外事業トピックス

GGV2030重点国のうち

- ・インドネシアは堅調に推移
- ・ベトナム、タイは売上減少

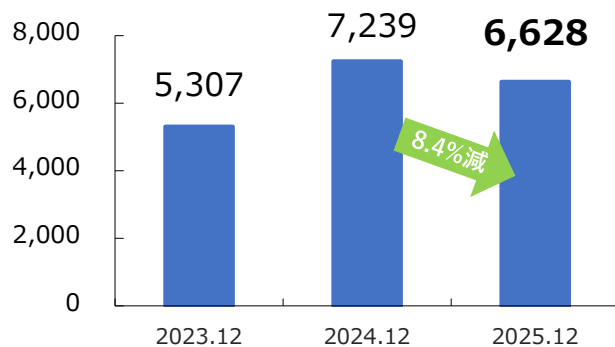


トピックス

○主な国別売上高

インドネシア	前年比 52.3%増
ベトナム	前年比 27.9%減
香港	前年比 47.9%減
タイ	前年比 9.1%減
台湾	前年比 19.1%減

(百万円) 海外事業の売上推移(販売会社の外売)



Copyright(C) GALILEI CO.LTD All Rights Reserved.

Page 15

GALILEI
Be cool, Be alive.

海外事業トピックス -GALILEI Global Vision 2030-

初の海外ショールーム 「F'S DESIGN COURT」 立ち上げ

国内で培ったソフト提案を東南アジアに向けて発信
ローカルユーザーとつながり、新たな食ビジネスを創造

お客様の要望に合わせた
多様な活用方法

製品体験

試作・試食

凍結解凍
テスト

セミナー

タイ バンコク (4月)



ベトナム ホーチミン (5月)



インドネシア ジャカルタ (7月)



Copyright(C) GALILEI CO.LTD All Rights Reserved.

Page 16

GALILEI
Be cool, Be alive.

海外事業トピックス -GALILEI Global Vision 2030-

Food & Hospitality Asia 2026 2026年4月21日（火）～ 4月24日（金） @Singapore EXPO



世界115以上の国と地域から2,750社以上が出展。約80,000人以上の業界関係者が来場

連結貸借対照表

単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	増減
流動資産	96,318	93,356	▲2,962
固定資産	45,244	61,071	+15,826
総資産	141,562	154,427	+12,864
流動負債	36,032	36,564	+531
固定負債	2,323	4,470	+2,147
負債合計	38,356	41,034	+2,678
純資産合計	103,206	113,392	+10,186
負債・純資産合計	141,562	154,427	+12,864
自己資本比率	72.4%	73.4%	+1.0pts
ROE(自己資本当期純利益率)	12.3%	11.3%	▲1.0pts

★ Point ★

○有形固定資産(建物等)

- ・滋賀(湖南)工場 新工場棟建設 約92億円
- ・岡山工場 配送センター建設 約20億円
- ・さいたま支店建設 約7億円
- ・関東サービスセンター建設 約7億円

○土地

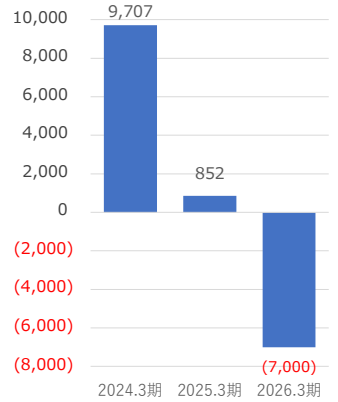
- ・GPC 新工場建設用地 約14億円
- ・岡山工場 新棟建設用地 約1億円

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	増減	当期の主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	10,375	12,088	+1,713	税金等調整前当期純利益 17,746
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 9,523	▲ 19,089	▲ 9,565	有形固定資産の取得による支出 ▲13,986
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 2,122	▲ 3,544	▲1,421	配当金の支払額 ▲2,963
現金及び現金同等物に 係る換算差額	73	167	+94	
現金及び現金同等物の 増減額	▲1,197	▲ 10,377	▲ 9,179	
現金及び現金同等物の 期末残高	52,828	42,451	▲10,377	

フリーキャッシュフロー推移



成長投資

■ 岡山工場 新配送センター建設

お客様からの多様なニーズに応え出荷台数 **500台/日**へ

2025年6月稼働開始

投資額：**29億円**

6,000台以上の製品収容能力 (旧配送センターの**1.5倍**)
入出庫能力を2倍以上に



岡山工場新配送センター外観



配送システム「G-TRANSPORT」導入

- ・ 配送手配業務のIT化により業務の標準化
→ 大幅な業務短縮を実現
- ・ 製品配送のトラッキングデータを社内イントラネットで共有
→ 製品出荷に関する問い合わせスムーズに対応可能

成長投資

■ 冷凍冷蔵ショーケース事業 滋賀第二工場建設

2026年12月稼働予定
約**30%**生産能力増強
年間**60,000**台へ（現工場と合わせて）

大規模成長投資補助金を活用

投資予定総額：**約100億円**
補助想定額：**28億円**

コンセプト
「人と地球に優しい、スマートファクトリー」



- ・ ショーケース事業のマザー工場
次世代の高付加価値製品を開発・生産する
ショーケース事業の新たな研究開発拠点
- ・ 環境配慮型拠点（CO2フリー工場、ZEB取得）
- ・ 環境保全に配慮。魅せる工場に
近隣学生など積極的に見学受入れ
- ・ 新規採用60名計画 地域雇用創出

成長投資

■ バリューアップセンター

「人とともに技術を育て、
食といのちの未来を拓く育成・開発拠点」

投資予定総額：**約36億円**

建物着工：2025年10月
建物竣工：2027年3月予定



【バリューアップセンターの機能】

- ・ 次世代のコールドチェーンを担う技術者の
人材育成拠点
- ・ 大阪でのソリューション開発の拠点
- ・ 将来的に社外の方にも活用していただき、
業界全体の技術者不足解消や
技術力の向上を目指しています。



成長投資

■ 業務用冷凍冷蔵庫のインド現地生産実証事業

「インドにおける日本品質の業務用冷凍冷蔵庫の海外生産実証事業」が経済産業省の補助金（二次公募・大型実証非ASEAN加盟国）に採択

【投資規模】

事業費総額：**15.7億円**
 （うち補助金申請額 **7.85億円**）

【目的】

■ 現地生産・供給体制の構築

当社の強みである「省エネ技術」「高度な衛生管理機能」を備えた業務用冷凍冷蔵庫をインドで展開

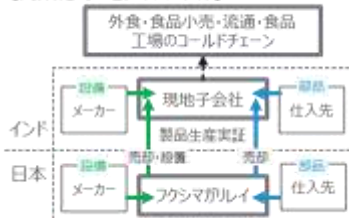
■ 現地の社会課題の解決

電力インフラの不安定さや衛生面の課題を自社製品・技術でクリア

■ 持続可能な社会の実現へ（ESG貢献）

食品鮮度の維持および「食品ロスの削減」
 コールドチェーンの「脱炭素化」を推進し、食の安全・安心を牽引

【商業化時のビジネスモデル】



設備：コア技術設備は日本で手配し品質確保
 汎用設備は現地で手配し低コスト実現
 部品：コア技術部品や製品は日本から供給
 現地調達部品も活用し低コスト実現
 組立：現地子会社に設備を設置、部品集約し組立、実証事業実施

株主還元

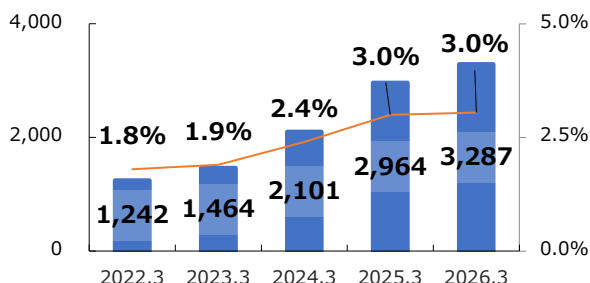
株主還元方針

2025年3月期～2027年3月期の3年間の基本方針

基準：DOE **3%** ※DOE…連結株主資本配当率

DOE・配当総額の推移

単位：百万円



ROEの推移

2025年3月期
12.3%



2026年3月期
11.3%

2027年3月期の配当予想

期末配当予想 **89円**(7円増配)

配当性向 **28.6%**(26.3月期：26.9%)

2027年3月期 通期連結業績予想

- 売上高 : ショーケース・フードサービス事業を中心に堅調に推移する見込み。
物流・食品工場案件も引合い好調なため、増収の見通し。
- 営業利益 : 地政学リスクの不確実性やエネルギー・物流コスト上昇が想定されるものの、グループ各社の復調に伴い微増益の見通し。

	2026年3月期(実績)		2027年3月期 (予想)		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	138,616	100.0%	144,923	100.0%	104.5%
売上総利益	38,629	27.9%	39,198	27.0%	101.5%
営業利益	17,078	12.3%	17,155	11.8%	100.4%
経常利益	17,943	12.9%	17,975	12.4%	100.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,197	8.8%	12,370	8.4%	101.4%

(単位：百万円)

●お問い合わせ先

ガリレイ株式会社 経営企画室 経営企画課

Mail : keieikikaku6420@galilei.co.jp

※当資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、掲載時点で入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。実際の業績はリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。